

上越の未来カレンダーを考える

塾長 渡邊 隆

上越はつらつ元気塾の活動は、創設以来たゆまなく続いております。

上越の元気を求めての旅は、今、地方都市上越の将来、特に人口減少を視点に地方都市のあり方に目を向けようとしています。

人口減少問題は、地方都市にとってとても重要な課題です。しかし、この問題はずっと前に予想されていたことです。2020年には女性の半数が50歳超え、2025年になると全国民の3人に1人が65歳以上になり、2041年には高齢者人口がピークを迎え、2050年は5人に一人が80歳以上となるなどの予測が出ています。人口問題はこれまでのやり方では、この混乱は乗り切れません。次の世代に豊かな日本を渡していく努力を大人たちはしていかなければならないと思います。

それにしてもこれまで豊かに暮らしてきたツケが出てきたとも言えます。しかし人口は、日本国中で地方都市がぶんどり合戦やっても始まりません。私たちは人口が減ることを増やすことが唯一の解決と考えることが重要です。

上越はつらつ元気塾では、人口減少がひき起こすマイナス面をしっかりと認識し、それに対して何ができるかの対策と戦略を考えていくべきだとこの問題を捉え直しました。昨年度から始めた元気塾のテーマ「上越の未来カレンダーを考える」は、こうしたコンセプトで動いております

次々と新しい「人口」の意味と豊かな地方都市;上越の未来カレンダーを作って行くことを考えております。

これまでも増して会員の皆さまのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

◆第2回セミナー

テーマ／上越の未来カレンダーを考える「地方×副業でつくる『これからの働き方』」
地方・副業・人口減少のキーワードから新しい働き方を考えるセミナーを開催しました。

上越はつつ元気塾
上越の未来カレンダーを考える
“人口減が上越を元気にする?!”

第2回セミナー
地方×複業でつくる
『これからの働き方』

「上越の元気の源」を掘り起こし地域に活かす上越はつつ元気塾では、昨年から上越の未来カレンダーを考える塾を開催しています。
第2回セミナーは、地方・複業・人口減少のキーワードから新しい働き方を考える提案です。

【とき】
2019年
6月18日(火)
17:15~18:30

【ところ】
上越教育大学
学校教育実践研究センター
(上越市西城町1丁目7-2)

【申込み】
単席の関係で、できるだけ事前にお申込みください。当日参加も可能です。

【主催】特定非営利活動法人 上越はつつ元気塾
【事務局】上越市高土町1-8-3 TEL:025-521-2627 FAX:025-520-4151 E-mail:genki@echigo-joetsu.com

NPO法人しごとのみらい 理事長
講師 **竹内 義晴さん**

1971年生まれ。新潟県妙高市出身。
自動車会社勤務、プログラマーを経て、現在は妙高市でNPO法人しごとのみらいを運営しながら、東京のIT企業サイボウズ株式会社でも働く複業家。地方を拠点に都市部でも働く経験から「都市部ではたらく人々が地方で複業できたら、関係人口が増え、地方企業や地域を維持できるのではないか」という考えに基づき、イベントや仕組みづくりに取り組んでいます。

○参加者数／61名

上越はつつ元気塾
上越の未来カレンダーを考える “人口減が上越を元気にする?!”

第2回セミナー
地方×複業でつくる『これからの働き方』

令和元年 6月18日(火) 午後5時15分～6時30分
上越教育大学 学校教育実践研究センター

主催者挨拶 NPO法人 上越はつつ元気塾 塾長 渡邊 隆

セミナー テーマ：地方×複業でつくる『これからの働き方』
講師：NPO法人しごとのみらい 理事長 竹内 義晴さん

Profile
自動車会社勤務、プログラマーを経て、現在は妙高市でNPO法人しごとのみらいを運営しながら、東京のIT企業サイボウズ株式会社でも働く複業家。地方を拠点に都市部でも働く経験から「都市部ではたらく人々が地方で複業できたら、関係人口が増え、地方企業や地域を維持できるのではないか」という考えに基づき、イベントや仕組みづくりに取り組んでいます。

上越 「複業」で地域維持を

未来の上越地域のあり方を考えるセミナーが西城町1の上越教育大学学校教育実践研究センターで開催された。妙高市のNPO法人「しごとのみらい」理事長の竹内義晴さん(48)が講師を務め、都市部と地方の両方で仕事をする「複業」を通じて、人口減少が進む地域を維持するアイデアを紹介した＝写真＝。上越市のNPO法人「上越はつつ元気塾」が6月18日に主催し、地元企業の経営者ら約50人が参加した。

竹内さんは理事長を務めるNPO法人のほか、東京のIT企業「サイボウズ」でも働く自身の例を挙げ、「都市部に暮らしながら地方で月に数日働き、経営や情報発信などのスキルを生かせるようにな



れば、地方の企業も活躍の幅が広がるのではないかと複業の可能性を語った。

また、都市部に住む人の中には地方に貢献したい人がいることを挙げ、「仕事を通じて緩やかに地域と関わる人を増やすことで地域を維持し、移住のハードルも下げられる。国も都市部の住民と受け入れ地域を仲介する拠点づくりに取り組み始めた」と話した。



(新潟日報 令和元年7月10日掲載)

★第2回セミナー 参加者感想 (アンケートから抜粋)

- ・目からうろこ的、何となく未来が明るく感じられました。「ゆるく繋がる」は、いいです。(上越市・60代男)
- ・複業という考え方ははじめて聞きました。興味をもって研究したいと思います。(上越市・60代男)
- ・とってもおもしろい発想のお話を聞きました。こういう仕組みができて動き出したらおもしろそう。上越が元気になりそう。(上越市・50代女)
- ・関係人口という言葉は今まで以上に深く考える事ができました。これからの地方には大切だと感じましたし、できることを考えたいと思いました。(上越市・30代女)
- ・これからの働き方について関係人口というもの、複業というものに興味があり、まさに聞きたい内容が聞けたのでとてもよかったです。(上越市中郷区岡沢・30代男)
- ・整理されてわかりやすい講演でした。「もっと楽しく」仕事をしよう。昭和世代には刺さる言葉でした。今はそんな気持ちで働いております。(妙高市・50代男)
- ・しくみ・システムetcとても大切ですが、やはり“楽しそう”魅力的“なところに人は集まる!! 竹内さんの楽しそう・・・楽しく仕事生活する姿はとても魅力的だと思います。これからの活動が楽しみです。(上越市・50代女)
- ・複業の可能性について知ることができました。人口減少とどう向きあうかが重要だと思いました。(妙高市・20代女)
- ・上越でも複業が当たり前になる時代がきそうだとワクワクしました。(上越市・40代男)
- ・地方にとり、前向きになれる講演でした。観光、移住といった既存の手段とは異次元の視点で非常に面白かったです。ありがとうございました。(上越市鴨島・20代女)
- ・将来(明日)に向かいモチベーションの高い話スバラシイ…(妙高市・70代男)

 上越はつらつ元気塾

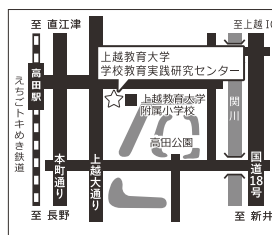
参加無料

上越の未来カレンダーを考える “人口減が上越を元気にする?!”

「上越の元気の源」を掘り起こし地域に生かす上越はつらつ元気塾では、昨年から、上越の未来カレンダーを考える塾を開催しています。今回は、分野別ワークショップ(第1部)と講演会(第2部)を開催します。ワークショップは2つのテーマで展開します。ご自由にお聞きください。

とき **12月3日(火) 午後5時～8時30分**

ところ 上越市西城町 **上越教育大学 学校教育実践研究センター**
(上越市西城町 1-7-2 附属小学校横)



第1部ワークショップ 上越地域の人口減を分野別に考える 午後5:00～6:50

～分野別にどのような人口減が起きるのか～

- | | | |
|----------|---------------------|---|
| 分野A「子育て」 | ファシリテーター
トークメンバー | 中條美奈子 (上越はつらつ元気塾 理事)
小宮 江美 (森のようちえんてくてく)
児玉久美子 (NPO法人ゆめきやんぱす)
長谷川敬子 (上越教育大学)
金山美和子 (長野県立大学) |
| 分野B「農業」 | ファシリテーター
トークメンバー | 小林 毅夫 (上越はつらつ元気塾 理事)
久保田喜隆 (久保田農園)
天明 伸浩 (山里暮らし応援団 星の谷ファーム)
宮崎 正夫 (個人農家の統合・法人設立)
澤田 繁 (上越市役所) |

出入り自由
どなたでも
お聞きいただけます。

第2部 講演会 午後7:00～8:30

「人はなぜ生きるのか？私はなぜ世界一の企業を創るのか？」 ～ビジネスとプライベート両方の未来カレンダーが人を惹き寄せる秘訣～

人材成長サービスを展開する30代の田島さんをお迎えします。



講師/㈱ manebi 代表取締役 CEO 田島 智也 さん

<Profile>

オンライン人材成長サービスを中心に展開。2016年1月に開始した「派遣のミカタ」が1年間で大成長を遂げ、日本最大級のビジネス AWARD で準大賞を授賞。ソーシャルカンパニーフォーラム登壇。ダイヤモンド社発刊の書籍ザ・ファストカンパニー 2017に掲載。現在は顧客数1,000社を超え業界日本 No.1 企業となる。

第3部 午後8:45～9:30

交流会 講師を囲んで立食交流会を開催します。会費：2,000円。11月30日までにお申込みください。

申込み/準備の関係で、できるだけ事前にお申込ください。当日参加も可能です。

主催 / 特定非営利活動法人 **上越はつらつ元気塾**

事務局：上越市高土町 1-8-3 TEL.025-521-2627 FAX.025-520-4151 E-mail: genki@echigo-joetsu.com

第1部 ワークショップ

上越地域の人口減を分野別に考える

～分野別にどのような人口減が起きるのか～

「子育て」「農業」の2分野についてトークメンバーを招き、公開ワークショップを開催しました。

上越はつらつ元気塾

と き 2019年12月3日(火)
と こ 上越教育大学 学校教育実践研究センター

上越の未来カレンダーを考える

“人口減が上越を元気にする?!”

17:00 開会
主旨説明 NPO法人上越はつらつ元気塾 塾長 渡邊 隆

17:15～18:50
第1部 ワークショップ

上越地域の人口減を分野別に考える
～分野別にどのような人口減が起きるのか～

出入り自由
どなたでも
お聞き
いただけます。

分野A「子育て」 ファシリテーター 中條美奈子 (上越はつらつ元気塾 理事)
トークメンバー 小菅 江美 (森のようちえんてくてく)
児玉久美子 (NPO法人ゆめきやんばす)
長谷川敬子 (上越教育大学)
金山美和子 (長野県立大学)

【ファシリテーターより】
平成元年の全国の合計特殊出生率は1.57でした。これは1.57ショックと呼ばれ、以後、日本は少子化対策に取り組み始めることとなりました。そんな子育て支援の黎明期ともいえる時期から、上越地域の子育て支援に関係してこられた方々にお集りいただきました。この地域で乳幼児がどんどんと少なくなっていくことを肌で感じることができる現場で行動してきた方々です。それぞれの立場から人口減少を早くから憂い、育てやすい社会にしていかなければと活動していってまいります。
今回は、問題解決の手段を語るのではなく、5年後10年後の上越地域で子育てをしている家庭の状況を予想してみます。子育て家庭が、人口減の中でどのような課題を抱えることになるのかを、認識している現状から類推し考えあててみます。あるべき未来を考えるために、まずは予測される現状を自覚するための作業を行います。

分野B「農業」 ファシリテーター 小林 毅夫 (上越はつらつ元気塾 理事)
トークメンバー 久保田喜隆 (久保田農園)
天明 伸浩 (上越やまざと暮らし応援団)
宮崎 正夫 (個人農家の統合・法人設立)
澤田 繁 (上越市役所)

【ファシリテーターより】
豪雪地でコメ単作地帯としての上越の農業は変わってきました。経営規模の拡大、農業法人化への移行、株式会社の農業への参画などに向けた動きが農村構造を大きく変化させています。野菜、園芸作物等への努力も進められています。
中山間地域では、耕作放棄地の増加等により、地域農業の維持に向けて問題も大きくなっていますが、一方で、個人として農家経営に希望を見出し、田園回帰型の姿も見え始めています。
人口減少が進んでいく中で、上越の農業はどう変化し、農村はどのように地域として存在していくのか。将来世代に向けた生きがいづくりをどう進めていくのかも大きな課題です。今後を見通しながら、希望を持った地域づくりの在り方を探るため話し合いになればと思います。

○参加者数 / 60名

参加者感想 (アンケートから抜粋)

- ・子育てで支援の第一線で活躍している方々の未来予測を聞いてよかった。自分では気づいていなかった視点を得られた。0歳児の人数を把握し、発行する。(上越市・20代男性)
- ・「子育て」分野のお話を聞かせていただきました。少子化の時代とはいうものの上越でどのような変化があるか真剣に考えたことがなかったので、具体的な話を聞いて身近な問題としてとらえる助けとなりました。(上越市30代女性)
- ・パネラーの皆さんの課題意識、展望やこれからの方略から農業のあり方、地域コミュニティのあり方、国民、市民としての責務と関心について深く広く学ぶことができました。ファシリテーターの柔軟で関係付けが巧みな進行で様々な課題を構造的にイメー

ことができました。農と自然、生活について幅広く国民の、県民の関心が高まることを期待しています。

(上越市・60代男性)

- ・非常に有意義な会でした。「農業」を元気に「農業」で元気になるには多くの問題、課題がありますが、このように意見を交わし、継続することで答えが見えると思います。

(上越市・50代女)



地域の未来を考える

上越

上越の未来について考えるワークショップが上越教育大学学校教育実践研究センターで開催された。人口減をテーマに子育てと農業について話し合った。

市内のNPO法人「上越はつらつ元気塾」が12月上旬に主催し、約50人が参加した。

農業がテーマのグループでは、地域の農家やエターン就農者が課題や展望を報告。それぞれの地元では農家がわずか数件ほどで、担い手が不足している現状を話した。その上で「農業に参入した企業に参加すると、自分らしい農業ができなくなる」「農家らが山間地に住むことで、水系など地域を守っている役割の重要性をもっと理解してもらいたい」などさまざまな声が上がった。

行政への要望として「農村で子育てをしたいが、きちんとインフラを守ってもらわないと難しくなる」といった意見が出た。

牧区で交流人口を増やす活動をしている植木美奈さん(48)は「地域が高齢化し、農業も自然も維持できないのではという不安がある。担い手不足について集落全体で考えていきたい」と話した。

(新潟日報 令和元年12月21日掲載)

第2部 講演会

「人はなぜ生きるのか？私はなぜ世界一の企業を創るのか？」
～ビジネスとプライベート両方の未来カレンダーが人を惹き寄せる秘訣～
人材成長サービスを展開する30代の田島さんをお迎えしました。

上越はつらつ元気塾

2019年12月3日(火)
上越教育大学 学校教育実践研究センター

19:00 第2部 講演会
主催者挨拶、講師紹介 NPO法人上越はつらつ元気塾 塾長 渡邊 隆

19:10～20:30 講演
「人はなぜ生きるのか？私はなぜ世界一の企業を創るのか？」
～ビジネスとプライベート両方の未来カレンダーが人を惹き寄せる秘訣～



講師/株 manebi 代表取締役 CEO
たじま ともや
田島 智也 さん

<Profile>
オンライン人材成長サービスを中心に展開。2016年1月に開始した「派遣のミカタ」が1年間で大成長を遂げ、日本最大級のビジネス AWARD で準大賞を授賞。ソーシャルカンパニーフォーラム登壇。ダイヤモンド社発刊の書籍「ザ・ファストカンパニー 2017」に掲載。現在は顧客数1,000社を超え業界日本 No.1 企業となる。

20:45～21:30 第3部交流会
講師、ワークショップメンバーを囲んで立食交流会を開催します。会費：2,000円。当日参加も可能です。



★講演会参加者感想（アンケートから抜粋）

- ・おもしろいお話でした。「人と向き合う」「対話する」「幸福度」「自分らしく輝く」「ジャイアン思考」気になるキーワードがたくさんありました。（上越市・50代女）
- ・久しぶりに自分のモチベーションが上がるお話を聞く事ができました。少し忘れかけていた自分の目標・目的についても気付き、振返ることができ、今後の人生の計画を改めて見直してみたいと思います。（上越市・20代男）
- ・ビジョンをつくるのが大切であると学びました。（上越市・30代男）
- ・インサイドアウトの重要性、達成による成功イメージ、今後の生活で活かして生きたい。（上越市・20代男）
- ・目標を達成するためにどうすべきか、どう考えればいいのか参考になりました。（上越市・30代女）
- ・自分が今、何を求めているのか、自分の周りの方々が何を求めているのか、もう一度考えなおし、未来カレンダーを作ってみたいと思いました。（上越市・30代女）

「ウォーキング&健康づくり体験」

心と体の健康を目指し、ウォーキング&健康づくり体験を実施しました。関根学園高校野球部の生徒に協力いただき、市民との交流を行いました。

○参加者／86名

ウォーキング& 健康づくり体験

日時 2019年 **11月9日(土)** 参加無料
9時～13時【受付8時40分～】

会場 関根学園高等学校 第2体育館「かがやき」

※小雨でも開催しますが、設置の恐れがあるときは中止になる場合があります。
※内容は変更になる場合があります。

※体育館内は土足厳禁です。

ウォーキング	健康づくり体験
<p>A「寺町コース」 約5km (予定) スタッフと一緒に歩きます。自由に歩くこともできます。</p> <p>B「心のふるさと道コース」 約10km (予定) ご自身のペースで自由に歩いてください。</p> <p><small>※出発前に、コースマップとアクエリアスを1本お渡しします。 ※距離は変更になる場合があります。ご了承ください。</small></p>	<p>体育館内 10時～13時 【メディカル&ケア(望月法骨院)】 健康相談</p>  <p><small>※内容は変更になる場合があります。</small></p>

申し込み方法 下記にご記入の上、FAXでお申込みください。電話・メールでも申込み可能です。

主催 / NPO法人 上越はつらつ元気塾 上越市高土町 1-8-3 TEL.025-521-2627
FAX.025-520-4151 E-mail: genki@techigo-joetsu.com

協力 / 関根学園高等学校、狭メディカル&ケア、上越歩く会 協賛 / コカコーライーストジャパン様

